

株主通信 第112期

平成27年4月1日から
平成27年9月30日まで

中間報告書

技術を大切に

人を大切に

地球を大切に



証券コード：6013

株主の皆様へ



代表取締役社長

加藤 隆昭

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度から第11次中期経営計画（3ケ年）がスタートし、前中期経営計画の成果をベースとして持続的成長へ向けた取り組みを推進しております。

当社グループの主要事業では、地球温暖化防止や省資源・省エネルギーの推進を背景として、バイオマス発電プラント、老朽化したごみ処理プラントの更新・改良工事などで旺盛な需要が見込まれています。

当社グループは企業ビジョンの達成のため、引き続きグループの総力をあげて事業活動にまい進してまいります。

今後ともタクマグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

企業ビジョン

再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け、2020年度に経常利益100億円を目指す。

第11次中期経営計画（2015～2017年度）

期間累計数値計画（連結）

受注高 **4,000**億円

売上高 **3,600**億円

経常利益 **270**億円

基本方針とその視点

持続的成長の実現のための、6つの基本方針と3つの視点を定めました。

基本方針

- ①EPC事業での市場ポジションを維持・拡大
- ②ベース収益事業の拡大
- ③成長市場の取り込み
- ④財務体質の更なる強化
- ⑤人材マネジメント
- ⑥健全な企業風土の醸成

視点

- ①顧客価値の創造
- ②継続的イノベーション
- ③環境変化対応とリスクマネジメント

持続的成長の実現

2015年度（第112期）上半期の業績および今後の取り組み

2015年度（第112期）上半期におけるタクマグループの業績は、バイオマス発電プラントの建設工事を順調に受注したほか、ごみ処理プラントでは基幹改良工事や定期修繕、運転管理などを受注しましたが、受注高は623億6,200万円（前年同期比7.1%減）となりました。受注残高は1,653億6,000万円となりました。

売上高はごみ処理プラントやバイオマス発電プラントの建設工事が大きく進捗したことから495億9,600万円（前年同期比19.1%増）となりました。

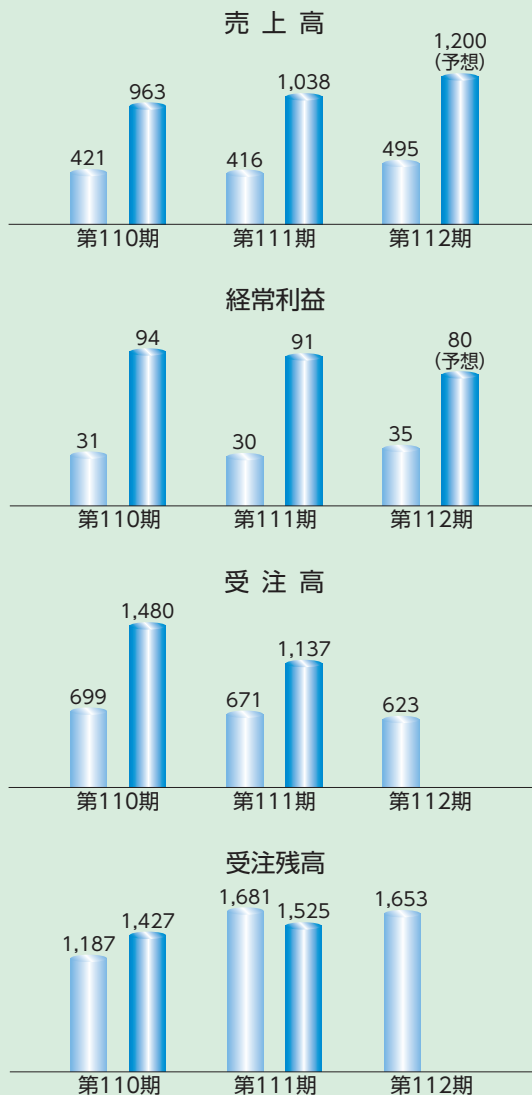
営業利益は32億9,300万円（前年同期比31.8%増）、経常利益は35億9,900万円（前年同期比19.8%増）となりました。

2015年度（112期）通期では売上高1,200億円、経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を予想しております。今後も人手不足による工事価格の上昇が懸念されるため徹底した品質管理、安全管理のもとコスト管理、工程管理を行い確実に収益を確保していきます。

配当につきましては、中間配当金を期初予定通り1株当たり5円といたしました。2015年度期末配当金についても5円を予定し、年間配当金は合計10円を予定しております。

業績の推移（連結）

■ 上半期 ■ 通期 （単位：億円）



触媒脱硝装置のオンサイト再生システム 第41回優秀環境装置表彰「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞

当社が開発した「触媒脱硝装置のオンサイト再生システム」が、このたび日本産業機械工業会が主催する第41回優秀環境装置表彰「経済産業省 産業技術環境局長賞」を受賞しました。

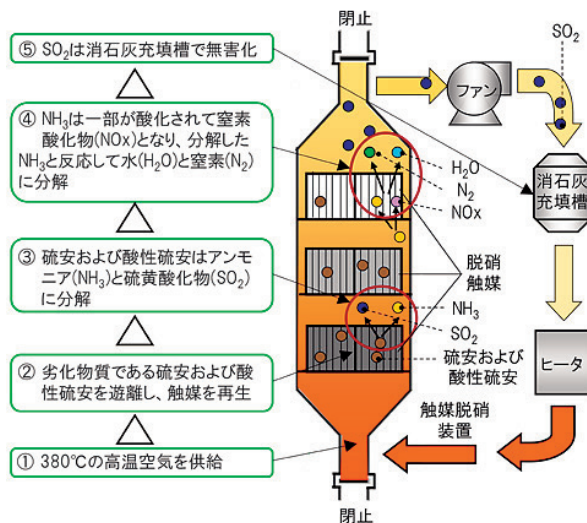
本システムは、都市ごみ焼却施設等で使用される触媒脱硝装置の触媒を装置から取り外すことなく、触媒の再生を行うもので、従来の特定施設に持ち込んで触媒を再生する方法と比べて処理工程での触媒の破損リスクを低減し、再生時間および再生コストを大幅に縮減するものです。

従来の方法では困難であった年1回程度の触媒再生ができることから、触媒の劣化速度が速いためこれまで採用されてこなかった触媒脱硝装置の低温運転が可能となります。その結果、ガス再加熱器で使用する排ガス再加熱用の蒸気使用量を削減でき、発電量の増加やそれにとまなうCO₂排出量の削減を実現します。

また、本システムは、都市ごみ焼却施設に限らず、触媒脱硝装置を使用する産業廃棄物焼却施設や、ボイラ・発電施設へも導入が可能です。

当社は今後とも、廃棄物処理のトップランナーとして、環境負荷低減に貢献できるシステムを開発してまいります。

触媒脱硝装置のオンサイト再生システム概要



※ 優秀環境装置表彰

一般社団法人日本産業機械工業会の表彰制度で、近年、一段と多様化しつつある国内および地球規模での環境問題に対処するため優秀な環境装置を選定し、その開発・製造事業者および開発に携わった主たる開発者を表彰することにより、環境保全技術の研究・開発および優秀な環境装置の普及の促進を図り、地球環境の保全に資することを目的とするものです。



授賞式で、賞状と盾を授与されました。

ガス焚き高効率簡易貫流ボイラ を共同開発

当社グループの株式会社日本サーモエナーが、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社および東邦ガス株式会社と共同で、総合運転効率向上を実現した「高効率簡易貫流ボイラEQRH-1001NM」を開発しました。本製品は、本年8月より販売を開始しております。

簡易貫流ボイラは、取扱い資格が不要という特長を持っており、小規模店舗から工場まで、幅広い分野のお客様に導入いただいています。

基本仕様

製品名	EQRH-1001NM
換算蒸発量	1,000kg/h
定格運転時のボイラ運転効率	97%
ターndダウン比 (最低出力)	1:4 (25%)
燃焼制御方式	四位置制御
空気量制御方式	ダンパ+インバータ
機器周囲騒音値	73dB以下



EQRH-1001NM外観写真

「高効率貫流ボイラEQRH-1001NM」の技術特長

- ① ボイラ運転効率が大幅に向上
 - (1) 最低出力を25%まで低減し、燃焼四位置制御方式を採用することで低負荷運転時の効率が向上
 - (2) マルチパスフロー缶体の開発と低空気比燃焼の実現により、定格運転時の効率が向上
- ② 送風機の消費電力低減と低騒音化を実現
- ③ ボイラ本体の水位を出力に合わせてきめ細かく制御することで、乾き度の高い良質な蒸気供給を実現

簡易貫流ボイラ 新製品 「エクオスEQS-101～301型(油焚)」発売

株式会社日本サーモエナーは、平成27年10月1日より簡易貫流ボイラ「エクオスEQS-101～301型(油焚)」を発売開始しました。

本製品は、①送風機の吸込み音低減による低騒音化、②高機能新型マイコン"V-Navi (Value Navi)"搭載による操作性向上、③燃焼性能の向上、④メンテナンス性の向上、⑤高い環境性能*といった特長を持っています。

*低煤塵 : スモーク度1%以下で排炭煤が少ない。
低CO化 : 一酸化炭素 (CO) 100ppm以下
低NOx : 東京都低NOx・低CO₂小規模燃焼機器認定新基準申請済み。(EQS-100K)

EQS-101～301型外観写真



会社紹介

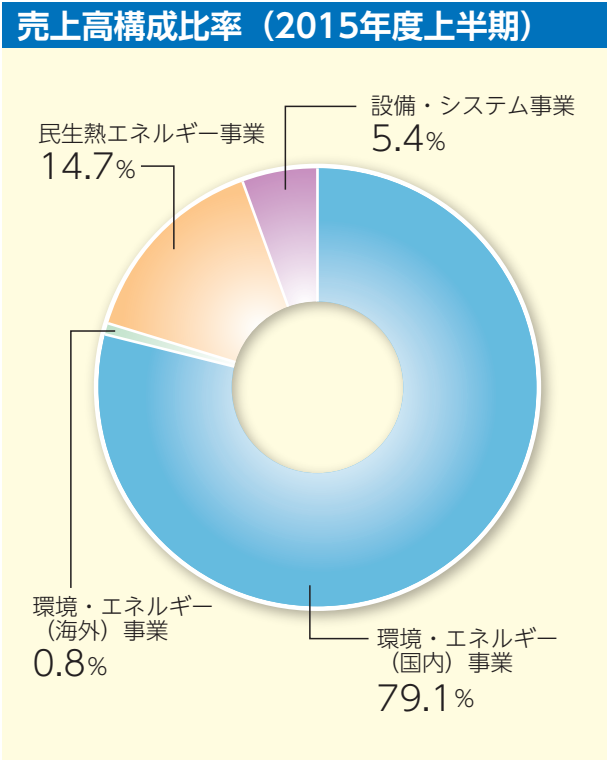
株式会社日本サーモエナーは、平成17年にタクマ汎用機械株式会社と荏原ボイラ株式会社を合併し設立されました。現在は貫流ボイラ、真空式温水機等の汎用品をはじめ、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の開発・製造・販売を行っており、幅広い商品・サービスをお客様へご提供しております。

今後も、より高い運転効率や環境性能の優れた製品作りを通して、世の中が必要とする高品質、高付加価値の商品・サービスのご提供で、お客様のニーズにお応えしてまいります。

同社ホームページでは、より詳しい情報をご提供しております。

<http://www.n-thermo.co.jp/index.html>

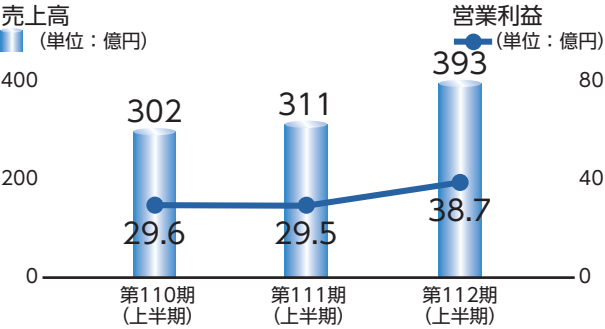
事業の概況（上半期）



環境・エネルギー（国内）事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント、ガスタービンコージェネレーションシステムの設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理を行っております。

売上高	39,325	百万円
	(前年同期比26.3%増)	
営業利益	3,870	百万円
	(前年同期比30.8%増)	

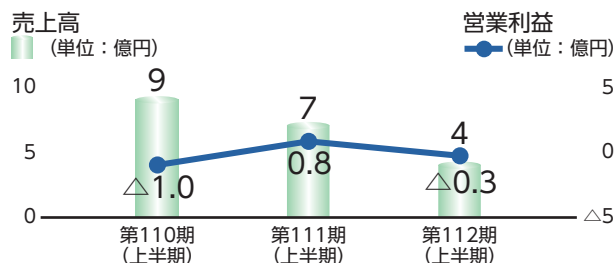


環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

売上高 **426** 百万円
(前年同期比44.2%減)

営業利益 **△37** 百万円
(前年同期実績85百万円)

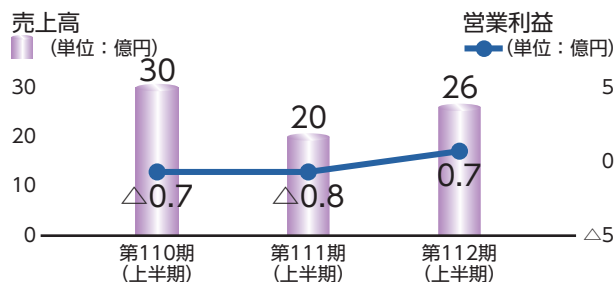


設備・システム事業

半導体産業をはじめ、大学、研究所、病院等に向けた建築設備、空調設備、クリーンルーム、ケミカルフィルター、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

売上高 **2,690** 百万円
(前年同期比34.0%増)

営業利益 **73** 百万円
(前年同期実績△84百万円)

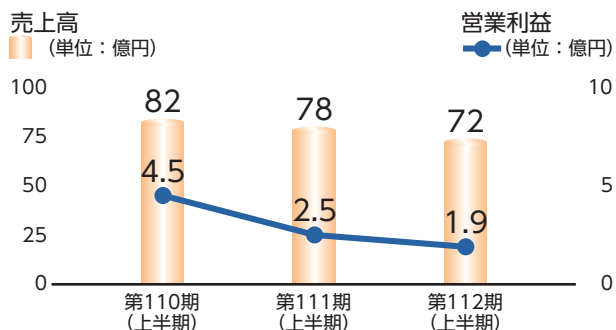


民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等のボイラの製造、販売、メンテナンスを行っております。

売上高 **7,290** 百万円
(前年同期比7.6%減)

営業利益 **194** 百万円
(前年同期比23.5%減)



高効率貫流ボイラ
EQRH-1001NM



真空式温水機
バコティンヒーター
EOL型

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 H27.9.30現在	前 期 H27.3.31現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,722	45,650
受取手形及び売掛金	26,084	38,195
たな卸資産	5,347	3,812
その他	6,486	5,678
貸倒引当金	△44	△50
流動資産合計	96,596	93,285
固定資産		
有形固定資産	9,669	9,855
無形固定資産	263	253
投資その他の資産		
投資有価証券	16,198	16,627
その他	3,587	3,580
貸倒引当金	△472	△476
投資その他の資産合計	19,313	19,731
固定資産合計	29,246	29,840
資産合計	125,842	123,126

	当第2四半期 H27.9.30現在	前 期 H27.3.31現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,011	17,673
電子記録債務	10,797	10,492
短期借入金	9,172	9,745
未払法人税等	414	304
前受金	11,311	8,691
賞与引当金	2,006	2,346
製品保証引当金	131	69
工事損失引当金	5,842	6,895
その他	2,589	3,392
流動負債合計	60,277	59,612
固定負債		
長期借入金	1,629	2,069
役員退職慰労引当金	162	180
退職給付に係る負債	8,499	8,294
その他	428	454
固定負債合計	10,719	10,998
負債合計	70,997	70,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,768	3,768
利益剰余金	34,364	31,764
自己株式	△230	△228
株主資本合計	51,269	48,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,889	4,096
繰延ヘッジ損益	△7	24
為替換算調整勘定	7	25
退職給付に係る調整累計額	△577	△605
その他の包括利益累計額合計	3,312	3,540
非支配株主持分	263	303
純資産合計	54,845	52,515
負債及び純資産合計	125,842	123,126

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 H27.4.1～H27.9.30	前第2四半期 H26.4.1～H26.9.30
売上高	49,596	41,642
売上原価	39,543	32,606
売上総利益	10,053	9,036
販売費及び一般管理費	6,760	6,538
営業利益	3,293	2,498
営業外収益		
受取利息	31	31
受取配当金	228	171
持分法による投資利益	196	233
負ののれん償却額	—	120
その他	80	89
営業外収益合計	536	646
営業外費用		
支払利息	57	86
固定資産処分損	133	16
その他	39	38
営業外費用合計	230	141
経常利益	3,599	3,004
特別利益		
訴訟損失引当金戻入額	—	550
投資有価証券売却益	—	132
特別利益合計	—	682
税金等調整前四半期純利益	3,599	3,686
法人税等	591	415
四半期純利益	3,007	3,270
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,013	3,274

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期 H27.4.1～H27.9.30	前第2四半期 H26.4.1～H26.9.30
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,534	19,380
投資活動によるキャッシュ・フロー	92	△27
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,491	△2,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,116	17,303
現金及び現金同等物の期首残高	45,007	27,029
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	49
現金及び現金同等物の四半期末残高	58,124	44,382

解 説

■連結貸借対照表

- ・資産の部
売上債権の回収、前受金の受領により現金及び預金が増加したほか、たな卸資産も増加しており、資産合計は増加しております。
- ・負債の部
工事損失引当金が減少し、短期・長期の借入金の返済も進みましたが、前受金の受領があり、負債合計は増加しております。
- ・純資産の部
親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、純資産合計は増加しております。

■連結損益計算書

売上高の増加により売上総利益が増加したことから、営業利益、経常利益は前年同期を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益の計上があった前年同期に比べて減少しております。

会社概要

(平成27年9月30日現在)

設 立 昭和13年6月10日

資 本 金 13,367百万円

本社の所在地 〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609

事 業 所

大阪事務所 〒532-0026 大阪市淀川区塚本2丁目3番20号 (ダイケンビル)
TEL 06-6100-3301

東京支社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目1番7号 (野村不動産東日本橋ビル)
TEL 03-5822-7800

北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 (大五ビル)
TEL 011-221-4106

東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号 (NOF仙台青葉通りビル)
TEL 022-222-3042

中部支店 〒450-0002 名古屋市市中村区名駅3丁目22番8号 (大東海ビル)
TEL 052-571-5211

北陸支店 〒920-0961 金沢市香林坊1丁目2番20号 (朝日生命金沢第2ビル)
TEL 076-262-5380

九州支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号 (薬院ビジネスガーデン)
TEL 092-717-2828

沖縄営業所 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜1丁目11番12号 (コモンズビル)
TEL 098-898-6650

播磨工場 〒676-8540 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
TEL 079-443-6511

台北支店 台湾台北市114-92内湖区基湖路35巷16号7樓A1
TEL 886-2-8752-3838

主要関係会社

(平成27年9月30日現在)

国 内

株式会社日本サーモエナー
各種ボイラ及び関連機器の販売

株式会社タクマテクノス
環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理

株式会社北海道サニタリー・メンテナンス
下水処理施設等の維持管理運営

株式会社タクマテクノス北海道
ごみ処理施設等の維持管理運営

株式会社サンプラント
空調調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理

タクマ・エンジニアリング株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計

タクマシステムコントロール株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計

株式会社ダン・タクマ
クリーン機器、ケミカルフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売

協立設備株式会社
環境設備プラント・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理

株式会社環境ソルテック
水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業

カンポリサイクルプラザ株式会社
一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務

長泉ハイトラスト株式会社
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理

藤沢ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

いわて県北クリーン株式会社
産業廃棄物及び一般廃棄物の処理業務

ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

阿南ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理

株式会社タクマエナジー
電力小売事業

海 外

臺田環工股份有限公司 (台湾)
ごみ処理施設及び各種産業機器設備の設計、据付及び監理

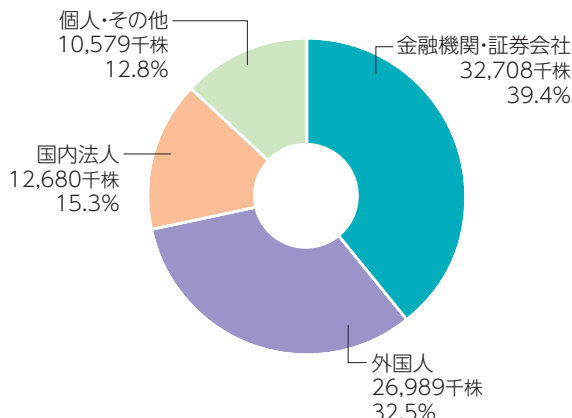
SIAM TAKUMA Co., Ltd. (タイ)
エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

株式の状況

(平成27年9月30日現在)

発行可能株式総数 321,840,000株
発行済の株式総数 83,000,000株
株主総数 4,816名

所有者別分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,219	7.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,542	5.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,022	4.8
日本生命保険相互会社	3,593	4.3
PIONEER FUNDS	2,121	2.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,766	2.1
タクマ共栄会	1,699	2.0
株式会社三井住友銀行	1,621	2.0
日本土地建物株式会社	1,305	1.6
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,280	1.5

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（1,000株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例) 250株ご所有の株主様 → 750株を買増しして、1,000株にすることができます。

単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例) 250株ご所有の株主様 → 250株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。

情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

<http://www.takuma.co.jp/>

株 主 メ モ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告（当社のホームページに掲載） (http://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場証券取引所	東京（証券コード：6013）
単元株式数	1,000株

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。
3. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915

